

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：西海ブロック

アオリイカ

海域	九州北・西	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、福岡県水産海洋技術センター、佐賀県玄海水産振興センター、長崎県総合水産試験場、熊本県水産研究センター、鹿児島県水産技術開発センター
----	-------	------	---

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は調査指針および状況報告書を取りまとめ、生物情報の収集を実施した
- ・長崎県、鹿児島県は生物情報収集調査を開始した
- ・参加機関は各県内の調査市場または代表漁協の抽出および漁獲データの収集を開始した

(2) データ収集状況

- ・長崎県、熊本県および鹿児島県では精密測定を開始し、長崎県では5、7、8月に128個体、熊本県では10～12月に182個体、鹿児島県では4～7、9、11、12月に56個体をそれぞれ測定した
- ・参加機関は、各県内の主要市場のうちアオリイカの水揚げ実態がある市場を抽出するとともに、過去データの収集が可能か調査した

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：アオリイカは、インド・太平洋域に広く分布し、日本でも北海道南部から沖縄県にかけ連続的に分布することが報告されている（奥谷 1973）。徳島県沿岸では水温が低下する冬季には水温が暖かい沖合域に移動することが報告されている（上田 2000）
- (2) 年齢・成長：雄： $ML=27.8\exp(-\exp(0.576(t-1.86)))$ 、雌： $ML=24.5\exp(\exp(-0.554(t-1.79)))$ いずれも徳島県沿岸（上田 2000）。ただし、 t は月齢。MLは外套長（cm）。寿命は雌雄ともに約1年（上田 2000）
- (3) 成熟・産卵：GSI（生殖腺体重指数）が4以上で産卵可能とされ、大型個体では4月から、小型個体でも6～9月に産卵すると考えられる（徳島県沿岸、上田 2000）
- (4) 被捕食関係：調査データから解析中

(4) 備考

- ・農林統計の対象種でないことから、魚市場などでの漁獲データを収集

引用文献

奥谷喬司 (1973) 日近海産十腕形頭足類（イカ類）分類・同定の手引. 東海区水産研究所
研究報告, **74**, 83-111.

上田幸男 (2000) 徳島県産アオリイカの資源生物学的研究. 徳島県水産試験場研究報告,
1, 1-80.